

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年11月10日(2016.11.10)

【公表番号】特表2016-502985(P2016-502985A)

【公表日】平成28年2月1日(2016.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-007

【出願番号】特願2015-546930(P2015-546930)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/352	(2006.01)
A 6 1 K	47/40	(2006.01)
A 6 1 K	9/20	(2006.01)
A 6 1 K	9/48	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/21	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/352	
A 6 1 K	47/40	
A 6 1 K	9/20	
A 6 1 K	9/48	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	9/06	
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	37/66	G
A 6 1 K	39/00	G

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一の成分として、デルフィニジンおよびスルホアルキルエーテル- $\cdots$ -シクロデキストリンの複合体および/またはデルフィニジンもしくはその塩を含み、第二の成分として、腫瘍壞死因子関連アポトーシス誘導リガンド(TRAIL)を含む、悪性黒色腫の処置のための組成物。

【請求項2】

複合体におけるスルホアルキルエーテル- $\cdots$ -シクロデキストリンがスルホブチルエー

テル - - シクロデキストリンであることを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

複合体におけるシクロデキストリンのスルホアルキルエーテル基での置換度が、3 から 8 であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

複合体におけるシクロデキストリンのスルホアルキルエーテル基での置換度が、4 から 8 であることを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

複合体におけるシクロデキストリンのスルホアルキルエーテル基での置換度が、5 から 8 であることを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

複合体におけるシクロデキストリンのスルホアルキルエーテル基での置換度が、6 から 7 であることを特徴とする、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

組成物が、デルフィニジンもしくはその塩、またはデルフィニジンおよびスルホアルキルエーテル - - シクロデキストリンの複合体の治療的有効量を含むことを特徴とする、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

組成物が、少なくとも 1 個のさらなる治療的活性物質を含むことを特徴とする、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

治療的活性物質が、  
- 細胞増殖抑制剤、  
- インターフェロン、および  
- 腫瘍ワクチン

からなる群より選択されることを特徴とする、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

インターフェロンが、- および / または - インターフェロンである、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

- インターフェロンが、インターフェロン - 2 a および / または - 2 b である、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

1 個またはそれ以上の薬学的な助剤および / または添加剤をさらに含む、請求項 1 から 11 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

1 個またはそれ以上の薬学的な助剤および / または添加剤が、薬学的に許容される担体、充填剤、香料および安定化剤からなる群より選択される、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 14】

投与のための製剤形態が、経口形態、経直腸形態ならびに腹腔内、経皮、皮下、筋肉内、静脈内、点眼、経肺および経鼻を含む非経腸形態からなる群より選択される形態である、請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 15】

投与形態が、錠剤、カプセル剤、懸濁剤、エアロゾル剤、液剤、クリーム剤、ペースト剤、ローション剤、ゲル剤および軟膏剤からなる群より選択されることを特徴とする、請求項 14 に記載の組成物。

【請求項 16】

デルフィニジンもしくはその塩、および / またはデルフィニジンおよびスルホアルキルエーテル - - シクロデキストリンの複合体が、デルフィニジンの制御放出および / または遅延放出のためのガレヌス製剤に使用されることを特徴とする、請求項 1 から 15 のい

ずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 7】

メラノーマ細胞または悪性黒色腫罹患組織の外科的除去、  
- 放射線療法、  
- 免疫療法、  
- 化学療法、および  
- インターフェロン処置

からなる群より選択される処置を受けたか、該処置を受けているか、または該処置を受け準備をしている対象における悪性黒色腫の処置のための、請求項 1 から 1 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 8】

第一および第二の成分が医薬の構成成分であることを特徴とする、請求項 1 から 1 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 9】

第一および第二の成分が同時に投与されることを意図されることを特徴とする、請求項 1 から 1 8 のいずれか一項に記載の組成物。